

電 気 設 備 工 事 仕 様 書

- Ⅰ. 工 事 概 要
1 工事場所 鳥取県鳥取市湖山町西三丁目113-1

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	特別養護老人ホーム	S	2	4.169.17	(6) 項 (ロ)	耐火建築物
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目

(○印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
・電 灯 設 備		○	○					幹線及び新設電源盤 (空調用)
・動 力 設 備			○					幹線及び新設電源盤 (空調用)
・電 熱 設 備								
・雷 保 護 設 備								
・受 変 電 設 備		○						既設キュービクル改造 (既設トランス容量変更)
・電 力 貯 蔵 設 備								
・発 電 設 備								
・構内情報通信網設備								
・構内交換設備								
・情報表示設備								
・映像・音響設備								
・拡 声 設 備								
・誘 導 支 援 設 備								
・テレビ共同受信設備								
・監視カメラ設備								
・駐車場管制設備								
・防犯・入退室管理設備								
・火 災 報 知 設 備								
・中央監視制御設備								
・医療関係設備								
・構内配電線路		○						既設キュービクル～新設開閉器盤 (空調用)
・構内通信線路								
・テレビ電波障害防除設備								
・機械設備工事								
・建築工事								

4 設備概要

(○の付いたものを適用する。本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

項 目	特 記 事 項
電 灯 設 備	・電 気 方 式 幹線 ○単相3線式100/200V ・直流2線式100V 分岐 ○単相2線式 (○100V ○200V) ・直流2線式100V 光源 ・LED ・蛍光灯 ・白熱灯 電源 ・電池内蔵形 ・電源別置形 設置箇所 ・避難口 ・階段通路 ・廊下通路 ・室内通路
動 力 設 備	・電 気 方 式 幹線 ○三相3線式200V ・単相2線式200V ○単相3線式100/200V 分岐 ○三相3線式200V ○単相2線式 (○100V ○200V)
雷保護設備	・受 雷 部 針 棒 ・棟上げ導体 ・その他金属体 () ・避雷導線 建築構造体利用 ・引下げ導線 ・接地極 建築構造体利用 ・接地極埋設
受変電設備	・電 気 方 式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ○三相3線式200V ○単相3線式100/200V ○単相2線式 (○100V ○200V) ・契約電力 新築工事 ・100kW未満 ・100kW以上500kW未満 ・500kW以上 改修工事 既存設備 ・ kW ・設備方式 ○屋内形 ※屋外形 ・機器種類 ○キュービクル式配電盤 (・P F形 ・CB-1形 ○CB-2形) ・高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 三相200kVA (X2) → 三相300kVA (X2) に容量変更 変圧器 三相 200・200 kVA、単相 200・150 kVA ・油入 ・モールド 単相150kVA→単相300kVAに容量変更 主遮断器 ・限流ヒューズ ・VCB
電力貯蔵設備	・直 流 電 源 装 置 用 途 ・非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ・受変電設備制御電源専用 ・非常用照明器具電源専用 蓄 電 池 ・H S形鉛蓄電池 ・M S E形鉛蓄電池 (Ah) ・交流無停電電源装置 (UPS) 形 式 ・機仕によるUPS ・簡易形UPS 用 途 ・電算機用 ・
発電設備	・自 家 発 電 装 置 電 気 方 式 三相3線式 ・6.6kV ・210V 機 器 類 形 式 ・キュービクル形 ・簡易形 ・オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ・ディーゼル ・ガスタービン 防 油 堤 ・コンクリート製 ・鉄板製 (・本工事 ・別途工事) ・太陽光発電装置 モジュール ・結晶シリコン ・薄膜 ・風力発電装置 風 車 ・プロペラ形 ・
通信情報設備	・構内情報通信網設備 ・機器 配管のみ 配管及び配線 ・構内交換設備 ・交換機 ・局線中継台 ・電話機 ・ボタン電話装置 ・配管のみ ・配管及び配線 ・情報表示設備 ・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・増幅器 ・スピーカー ・プロジェクタ ・スクリーン ・その他 () 用 途 ・一般放送 ・非常放送 ・個別放送 ・音声誘導装置 ・身体障害者用インターホン装置 ・トイレ等呼出し装置 ・インターホン ・テレビインターホン ・ナースコール ・アンテナ (・UHF ・BS ・CS) ・CATV ・カメラ ・ビデオモニタ ・タイムラプスVTR ・配管のみ ・配管及び配線 ・駐車場管制設備 車両検知方式 ・光検式 ・ループコイル式 ・防犯・入退室管理設備 機器 (・本工事 ※別途工事) 配管 (※本工事 ・別途工事) 配線 (・本工事 ※別途工事) 火災報知設備 ・自動火災報知設備 ・受信機 (・P型 ・R型) ・副受信機 ・中継器 ・感知器 ・自動閉鎖設備 運動制御 (回線 ・単独 ・火報受信機と一体) 感知器 (・共用 ・専用) ・非常警報設備 複合装置 ・一体形 (※一般型 ・防雨型) ・単独 ・ガス漏れ警報設備 受信機 回線 ・単独 ・火報受信機と一体 ・LPガス用 ・都市ガス用

項 目	特 記 事 項
構内配電線路	○電 気 方 式 三相3線式 (・6.6kV ○200V) ○施 工 方 法 ○単相3線式100/200V ・単相2線式 (・100V ・200V) ・地中埋設式 ○架空線式 幹線新設 (空調用) ・手動 ※自動 (・タイマー ・自動点滅器 ・中央監視)
構内通信線路	・用 途 ・電話用 ・時計協用 ・火災報知用 ・インターホン用 ・情報通信網用 ・CATV ・施 工 方 法 ・地中埋設式 ・架空線式
予備し書ビ防除設備	・対 策 方 策 ・都市形CATVへの加入 ・共同受信方式 (・共同アンテナ ・館内用アンテナ用) ・責 任 分 界 点 ・各戸の保安器一次側 ・

Ⅱ. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)」 (以下「機仕」という。) による。ただし、改修工事については「公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)」 (以下「改修機仕」という。) による。
(2) 建築工事又は機械設備工事を本工事に含む場合、当該部分はそれぞれの特記仕様書、標準仕様書を適用する。
(3) 項目に記載の [] 内表示番号は、機仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 [] 内表示番号は、改修機仕の当該項目、当該図又は当該表を表す。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に○印の付したものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印を付したものを適用する。ただし、○印のない場合は、※印を適用する。
・及び※の両方に○印がある場合は共に適用する。

一般共通事項	① 適用基準等	※公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）（以下「標準図」という） ※営繕工事写真撮影要領（令和5年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修															
	② 官公署その他への手続 [1.1.1.3]	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、受注者の負担とする。															
	③ 施工図等 [1.1.2.2~3]	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。															
	4 電気保安技術者 [1.1.3.2]	・適用する（当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする） なお、電気保安技術者の資格は[1.1.3.2]によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
	⑤ 電気工事士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。															
	6 工事安全計画書等 [1.1.3.8]	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督員に提出する。															
	⑦ 発生材の処理等 [1.1.3.9]	引渡しを要するもの ※無し ・有り（・機器類 ・配管材料 ・ ） 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※無し ・有り（・PCB使用機器 ・ ） 撤去予定機器の撤去PCB分析 ※無し ・有り PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 再生資源の利用を図ると指定されたもの ※無し ・有り（・コンクリート塊 ・鉄筋コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・蛍光管 ・ ）															
	⑧ 環境への配慮 [1.1.4.1]	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。EM電線種で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 壁内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 グリーン購入は次のものとする。 ・照明制御システム ・変圧器 ・															
	⑨ 機材等 [1.1.4.2]	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督員に提出して承諾を受ける。 なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督員に提出するものとする。															
	⑩ 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ. 機材による場合は、[1.1.4.2(b)]の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、機仕に規定される製作図、試験成績書等は除く。															
	11 室内空気中の化学物質の濃度測定 [1.1.5.7]	・実施する ※実施しない															
	12 技能士の適用	下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士、二級技能士又は単一等級の資格を有する者）															
	⑬ 完成写真等 [1.1.7.1~2]	次のものを監督員に提出する。 <table><tr><th>区 分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部 数</th><th>電子データ・ネガの提出</th></tr><tr><td>工事記録写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ・ 部</td><td>・ 要 ・ 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督員の指示による</td><td>・ 2部 ・ 部</td><td>・ 要 ・ 不要</td></tr></table> ※完成写真は、他工事関連受注者と一括して提出する	区 分	分類・規格	撮影箇所	部 数	電子データ・ネガの提出	工事記録写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ・ 部	・ 要 ・ 不要	完成写真	カラーサービス判	監督員の指示による	・ 2部 ・ 部	・ 要 ・ 不要
	区 分	分類・規格	撮影箇所	部 数	電子データ・ネガの提出												
工事記録写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ・ 部	・ 要 ・ 不要													
完成写真	カラーサービス判	監督員の指示による	・ 2部 ・ 部	・ 要 ・ 不要													
⑭ 完成図等 [1.1.7.1~2]	次のものを監督員に提出する ○C A Dデータ 部 ・原図の白焼きの2つ折製本 部 ・原図の縮小版白焼きの2つ折製本（A4版） 部 ・複写 縮小版白焼き（A3版）バラ 部																

一 般 共 通 事 項

15 保 全 に 関 す る 資 料 [1.1.7.3]

⑮ 他 工 事 と の 取 合 い

仮 設 工 事

4 工 事 用 水 ・ 電 力
5 工 事 用 仮 設 物 [建2.3.1]

完成図の種類及び内容
※ [表1.7.1] による
○次による
○各階配線図 ・ 機器の仕様 ○単線接続図 ・ 系統図 ・ 平面詳細図、配置図 ○構内配線図
○主要機器一覧表 ・ 試験成績書 ○施工図

次のものをJIS A4版ファイルに製本して監督員に提出する。
提出部数 2部 (保証書は1部)
・建築物等の利用に関する説明書
・機器取扱説明書
・機器性能試験成績書
・官公署届出書類 (保守に必要とするもの)
・主要機器一覧表
・保証書 (1部)
・上記の電子データ

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

設備工事との取り合い	電 気	建 築	機 械
・コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入れ 補強 ※	※	※
・鉄骨造の開口及び補強	※	※	※
・照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (釘処理共)	※	※	※
・軽鋼鉄骨壁のボックス取付用下地	※	※	※
・埋込分電盤・端子盤・プルボックスの	仮枠 補強 ※	※	※
・仮枠及び埋込部分の補強	※	※	※
・OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	※	※	※
・埋込型機器取付用の天井	切込 補強 ※	※	※
・壁の切込加工、下地の補強	※	※	※
・自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアベンジ	※	※	※
・電気室、自家発電室などの基礎及びビット (蓋を含む)	※	※	※
・テレビアンテナ	基礎 アンカーボルト ※	※	※
・天井点検口	※	※	※
・機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 補強 ※	※	※
	屋上設備 ※	※	※

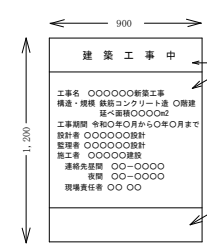
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
(保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)
・第三者保険にも加入する

※対象工事 (適用基準 ※円滑化基準 ・円滑化誘導基準) ・非対象工事

※対象工事 ・非対象工事

1 足 場 [1.2.1.1]
2 監 督 員 事 務 所 [1.2.1.1]
3 表 示 板 [1.2.1.1]

足場を設ける場合は、 [建2.2.4(2)] によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
・設ける ※設けない
設置する備品等の種類及び数量 ()
※設ける (寸法等は下図による)
※工事表示板 (・関連工事と一括して表示する) ・お願い表示板



- 記入要領
1 書体は角ゴシックとする
2 お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする

本工事に必要な工事用電力、水などの費用及びこれらの官公署への諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

構内に設けることが ※できる ・できない

いこいの杜空調設備改修工事

電気設備工事 特記仕様書1

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 飯田 浩明

印刷日 No	日付	印刷日 No
2023-29	2024.6	一級建築士登録番号
印刷日 No	印刷	第314245号
E-01	N.S	中興 直行

共通工事

1 耐震施工
[3.2.1.1ほか]

設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
1）設計用水平地震力
機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
※設計用標準水平震度は次による

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		・重要機器	・一般機器	・重要機器	・一般機器
上層階注、屋上及び塔屋	・機器 ・防振支持の機器 ・水槽類	2.0		1.5	1.0
				2.0	1.5
中間階	・機器 ・防振支持の機器 ・水槽類	1.5		1.5	1.0
				1.0	0.6
地下及び1階	・機器 ・防振支持の機器 ・水槽類	1.0		0.6	0.4
				1.0	0.6

注）上層階の定義は次による。
2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階

重要機器（・配電盤　・非常用発電機　・文換機　・直流電源装置　・UPS装置　・火災報知受信機
・中央監視制御装置）

2）設計用鉛直地震力
※設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

②電線類

本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。
ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

③電線本数・管路等

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管径などは監督員の承認を受けて変更してもさしつかえない。

4厚鋼電線管の溶融垂れつき

めつき付着量 300g/m以上とする。（※屋外　・　）

5露出配管の塗装
[1.2.7.1]

金属管の塗装箇所・居室、廊下等　・機械室　・屋外　・

⑥波付硬質合成樹脂管

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は、不燃又は難燃性とする。

⑦ノックユニゾレートの材質

※新室鋼製　・ステンレス製　◎樹脂製

⑧カバープレートの用途別表示

シール等を貼付する。

9地中箱

蓋の記号表示は銅型流込み（用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。

⑩接地極

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・共同接地	EAE D	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
・共同接地	EAE D E D	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
・A 種	EA	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
・B 種	EB	66Ω以下	E B × 2 連－2 組
・C 種	ED	10Ω以下	C D × 0 連　2 組
◎ D 種	ED	100Ω以下	E B × 1
・常保護設備用	ELA	Ω以下	・EP－0.6×2 ・EB×　連－　組
・高圧避雷器	ELH	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
・交換機用	Et	100Ω以下	E B × 3 連－1 組
・通信用	EAt	10Ω以下	E B × 3 連－2 組
・通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	E B × 1
・電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	E B × 1
・測定用	EO	－	E B × 1

（連絡又は単独の場合、EBはD＝14　L＝1,500　または　W＝40　L＝1,200とする）
（測定用の場合、EBはD＝10　L＝1,500　または　W＝30　L＝1,200とする）

⑪屋上、屋側の支持金物等

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとす。

12経路防止

外気に向する壁、スワフ等で打ち込みとなる位置ボックスは保温経路防止処置を行う。

⑬土工事
[1.2.2.1]

埋戻し土　※根切土の中の良質土　・山砂の類（　）　・真砂土（　）
建設発生土の処理　・構外に搬出し適切に処理（処分地　）
・構内の指示する場所に堆積

⑭はつり
[2.11.5]

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

15はつり工事における非破壊検査
[2.11.2]

探査方法　※電磁誘導式　・放射線透過検査　・

10スリーブ
[1.2.9.1]

スリーブの材料及び仕様　※標準仕様書による　・（材料　、仕様　）

17インサート及びアンカー
[1.2.10.1]

インサート及びアンカーの許容引抜荷重　※標準仕様書による　・
埋込み配管等の探査
範囲（　）、方法（　）
あと施工アンカー　性能確認試験　・行う　・行わない
施工後確認試験　・行う　・行わない

18補修など

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

1照明器具

L E Dの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
L E Dの光源色（※昼白色　・電球色）

2一般照明の照度測定

※測定する（測定箇所　※居室　・ろう下　・黒板前　・　）　・測定しない

3非常用照明の照度測定

※設置した各部屋2箇所以上　測定箇所　・

4照明制御の照度測定等

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督員に提出する。なお、測定箇所は監督員の指示による。
照度測定時期　100%点灯時　（※夜間　・昼間）
調光制御点灯時（※夜間　・昼間）

2動力設備

◎機器への接続

※電動機等への接続は本工事とする。　・別途工事

3大地抵抗率の測定

・工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極各路判定記録書を監督員に提出する。

2外部常保護システム

・構造体利用　・A型接地極　・B型接地極

雷設備保護

1変圧器移動車輪

75kVA以上に取付する。

2デマンド監視装置

・本工事　・別途工事

3盤内照明

正面及び背面に設置する。
※キュービクル改造（トランス容量変更・計器類・パネル改造、開閉器交換増設）等既設キュービクルの仕様にする。

5電設備貯蔵

・交流無停電電源装置（UPS）

方式（・常時インバータ給電方式　・ラインインタラクティブ方式　・常時商用給電方式）
停電補償時間（　分）

6発電設備

1自家発電装置

・ディーゼル発電装置
・ガスタービン発電装置
・ガスタービン発電装置
・熱供給発電装置
・燃料電池発電装置
運転時間（　h）　系統連系（・高圧連系　・高圧受電低圧みなし連系　・低圧連系　・無）
出力（　kW）　配電盤外箱（・有　・無）
保安装置（重故障項目特記・有　・無）　外部用端子（・要　・不要）
減圧水槽及び初期注水槽の材質（・鋼板製　・ステンレス鋼板製）
オイルタンク（・地下　・屋内）
据付・機械設備工事標準図（・施工30、32（タンク室有り）　・施工31、33（タンク室無し））
燃料小計槽（　）
燃料油等（・灯油　・軽油　・重油　・燃料ガス（　））
排気系統配管断熱材の厚さ（　mm）　ばい煙測定口（・設ける　・設けない）
排気ガスに含まれる窒素酸化物（　以下）　運転音（　dB以下）

2太陽光発電装置

系統連系（・高圧連系　・高圧受電低圧みなし連系　・低圧連系　・無）
公称最大出力（　kW）　耐風速（　m/s）
パワコンディショナ（　相　線式　V）　定格容量（　kW）
自立運転機能（・有　・無）
表示装置（・有　・無）　方式（※液晶　・　）

3風力発電装置

系統連系（・高圧連系　・高圧受電低圧みなし連系　・低圧連系　・無）　定格出力（　kW）

7構内交換設備

1交換機

局線応答方式（・局線中継台方式　・分散中継台方式　・ダイヤルイン方式
・ダイレクトインダイヤル方式　・ダイレクトインライン方式）
停電補償時間（　分）

2保安器用接地

※本工事　・別途工事

3壁付電話機との接続

※モジュラージャック　・電話用プレート

4回線数

内線　／　／　回線　局線　／　／　回線（現用／実装／容量）

5電話機

・一般電話機　　台　・多機能電話機　　台　・ファクシミリ　　台
・デジタルコードレス電話機　　台　・IP電話機　　台

6電話機への配線

卓上電話機1台につき次のものを見込む。
・ボタン電話機（・FM-RTIEF 0.4～2P　・　）（※15mm　・　）
・内線電話機（・EM-TIEF 0.65～2C　・TIVF 0.65～2C）（※15mm　・　）
・多機能電話機（・EM-BTIEE 0.4～2P　・　）（※15mm　・　）
・IP電話機（・EM-UIP 0.5～4P　・　）（※15mm　・　）（※Poe給電　・　）

8情報表示設備

1マルチサイン装置

表示壁（・発光ダイオード式　・プラズマ式　・液晶式）
イメージスキャナ（・設ける　・設けない）

2出退表示装置

制御装置（・壁掛形　・埋込形　・据置形）
表示壁（・発光ダイオード式　・プラズマ式　・液晶式）　呼出機能（・有　・無）

3時刻表示装置

時計計（・壁掛形　回線　・ラック形　回線）
太陽電池式屋外時計（点灯時間　h　点灯保証日数　日）

9映像設備

1プロジェクト

光出力（・I形　・II形　・III形）　解像度（・A形　・B形　・C形）
コントラスト比（・X形　・Y形）

10拡声設備

・増幅器

形式（・卓上形　・ラック形）　定格出力（60W）　性能（・Hi形　・Lo形）
・増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる

11誘支導接

・音声誘導装置

検出方式（・磁気方式　・無線方式　・画像認識方式）

12火災報知設備

1自動火災報知設備

受信機（・P型1級10回線（蓄積型）　・複合形　・単独形）

2自動閉鎖設備

・防火戸用（※ラッチ式　・電磁式）
・防煙ダンパー用（※電動復帰　・手動復帰）
・防火シャッター用（※別途工事　・本工事）

3ガス漏れ火災警報設備

検知器（・天井取付形　・壁取付形）

13構内配電線路

1施工方法

埋設深さ　※GL-300以上（舗装のある場合は路盤下-300以上とする。）　・GL-600以上（・車路　※高圧配線　◎幹線　・　）

2地中箱

ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

3高圧負荷開閉器

・閉鎖形（・軽閉鎖形　・重閉鎖形）　・地絡継電器付（※方向性　・無方向性）※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。

4高圧ケーブルの端末部

高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

5高圧ケーブルの屋外端末処理

・一般形　・耐塩形

⑥標識シート

※高圧　※特別高圧　◎低圧

7照明用ポール

照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

14構内通信線路

1施工方法

埋設深さ　※GL-300以上（舗装のある場合け路盤下-300以上とする。）
・GL-600以上（・車路　※高圧配線　・幹線　・　）

2地中箱

ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

3標識シート

・データ回線　・電話　・CATV　・

15テラビ電波受信

1調査仕様

図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本CAI技術協会の「建築物によるアレビ受信障害調査要領」及び「建築物によるアレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

2テレビ電波受信障害調査時期

※事前　・中間　※事後

3受信する受信波及び地点数

（　）中継局　波：　地点
（　）中継局　波：　地点

4報告書提出部数

※事前　3部　・中間　部　※事後　3部

16その他

1機器取付高

機器取付高は下表を標準とする。ただし、天井高3.0m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督員と協議する。

電力用途	名　　称	測　点	取付高 (mm)
	取引用計器 引込開閉器	地上～窓中心 地上～中心	1,800～2,000 1,800～2,200
電	分電盤・OA盤・実験盤	床下～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ	〃	1,300
	〃（多機能トイレ）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（台上）	台上～中心	150
	〃（十間）	床下～中心	800～1,300
	〃（車椅子用）	〃	900
	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃（舗装）	〃	2,000～2,300
灯	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
	壁掛形制御盤	床下～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ	〃	1,300
	端子壁	床下～下端	300
構内交換機	保安器箱	天井下～上端	200
	壁付アウトレット	床下～中心	300
	ベル	〃（和室）	150
	電気時計	壁掛形時計 予時計	床下～中心 〃
拡声			天井高×0.9
ガス検知			
2　工事のための送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めること。			

Ⅲ．機　材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による。ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

株式会社永井電機工業所　株式会社南平木電機産業
株式会社小林制御電機　株式会社富士オートメーション
株式会社勝英産業株式会社　株式会社南増岡電機製作所

いこいの杜空調設備改修工事

電気設備工事　特記仕様書2

CHIEF OF

株式会社 白兎設計事務所

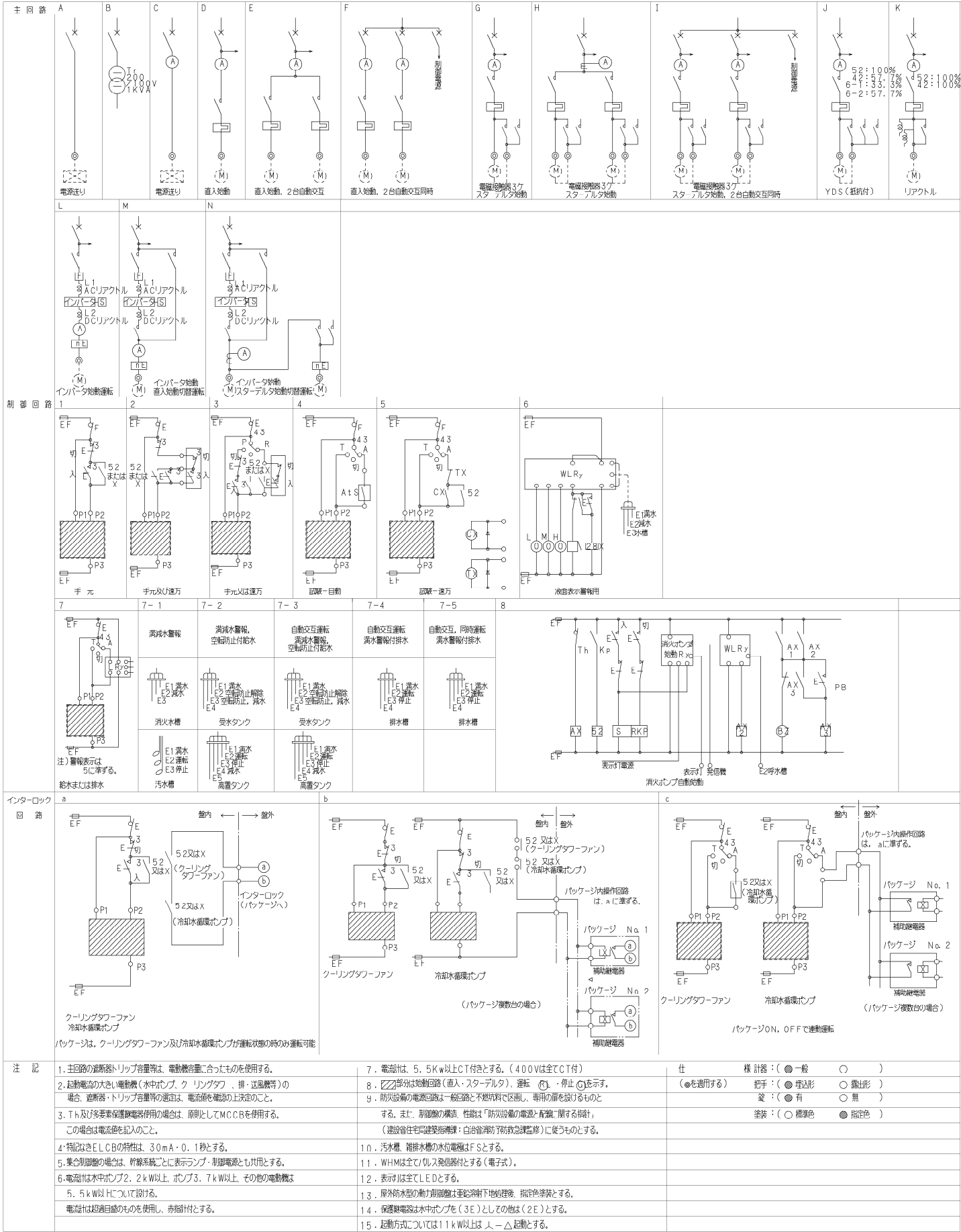
鳥取県知事　登録番号　第05～142
管理建築士（一級建築士登録番号　202701）　飯田　浩明

PROJECT NO.　DATE　DRAWING NO.

2023-29　2024.6　一級建築士登録番号
第314245号

DRAWING NO.　SCALE　中島　直行

E-02　N.S.

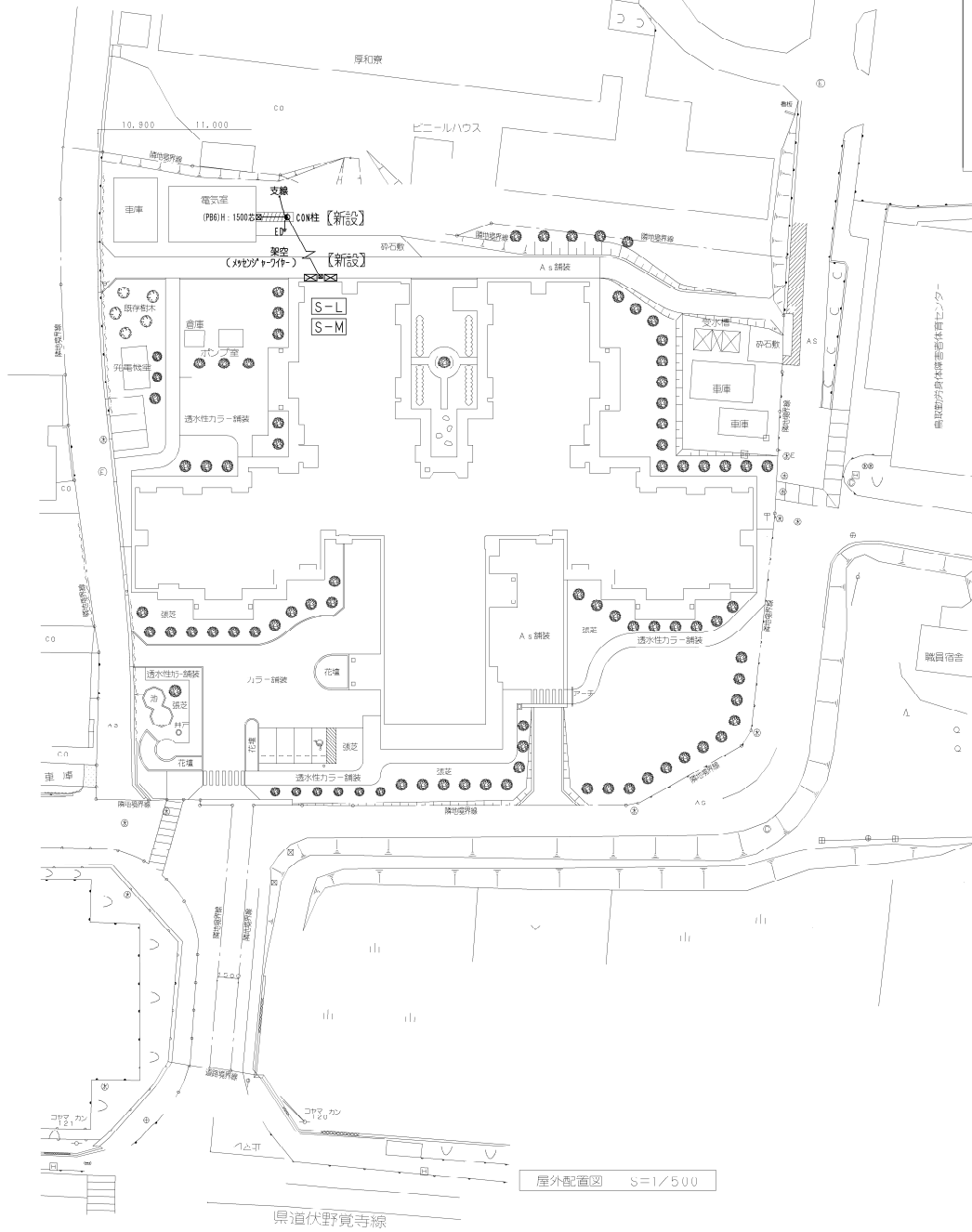


制 御 盤 一 覧 表																
盤名称 電気方式	幹線番号・主開閉器	負荷記号	負荷名称	定格出力 (kW)	分岐開閉器	制 御 盤		連動及び インターロック	監 視 盤				更新機器仕様	ケーブルサイズ	備考	
						主回路	制御回路		発停	表示	故障	液面				
(2階) M-1 屋外防水型SUS 3φ3W 200V 幹線 CET60sq 【新設】 動力盤参考寸法 (H1100 X W700 X D230) 壁掛型	(M1) MCCB 3P225AF/225AT	①	空調室外機 PAC-1	3.48	ELCB3P50AF/30AT	A							天井埋込型パナソニック160型	CE5.5-4C(28)		
		②	空調室外機 PAC-7	2.83	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック180型	CE5.5-4C(28)	
		③	空調室外機 PAC-7	2.83	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック180型	CE5.5-4C(28)	
		④	空調室外機 PAC-4b	2.83	ELCB3P50AF/30AT	A								ビルドイン型パナソニック180型	CE5.5-4C(28)	
		⑤	空調室外機 PAC-5	5.78	ELCB3P100AF/75AT	A								天井埋込型パナソニック240型	CE8-4C(28)	
		⑥	空調室外機 PAC-1	3.48	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック160型	CE5.5-4C(28)	
		⑦	空調室外機 PAC-3	3.36	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック150型	CE5.5-4C(28)	
		⑧	空調室外機 PAC-4a	2.83	ELCB3P50AF/30AT	A								壁掛形型パナソニック180型	CE5.5-4C(28)	
		⑨	空調室外機 PAC-4a	2.83	ELCB3P50AF/30AT	A								壁掛形型パナソニック180型	CE5.5-4C(28)	
		⑩	空調室外機 PAC-1	3.48	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック160型	CE5.5-4C(28)	
		⑪	空調室外機 PAC-3	3.36	ELCB3P50AF/30AT	A								天井埋込型パナソニック150型	CE5.5-4C(28)	



記号	名称仕様
☒ PB3	SUS300X300X300WP
☒ PB6	SUS600X600X600WP
●	コンクリート柱
☒	ハンドホール
≡ ED	接地極（D種）

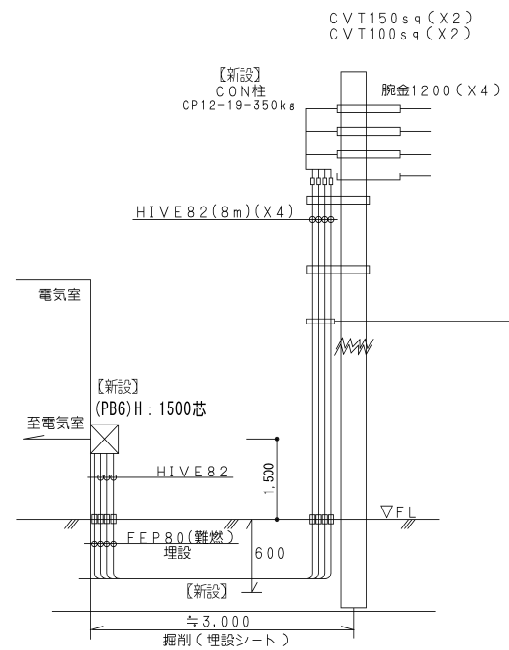
PB:プルボックス



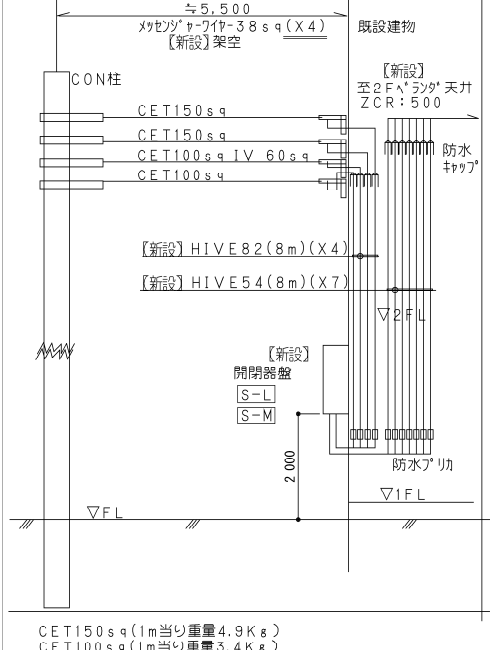
屋外配置図 S=1/500

県道伏野寛寺線

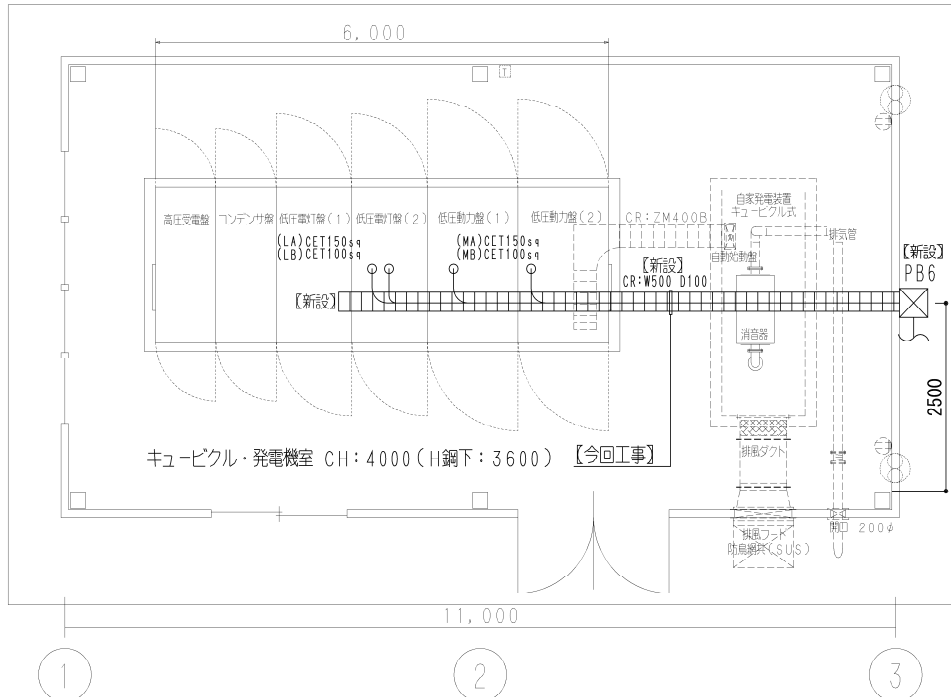
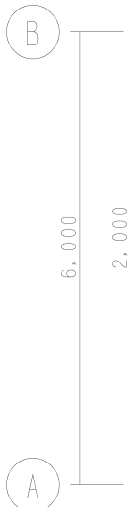
既設電気室側



既設建物側

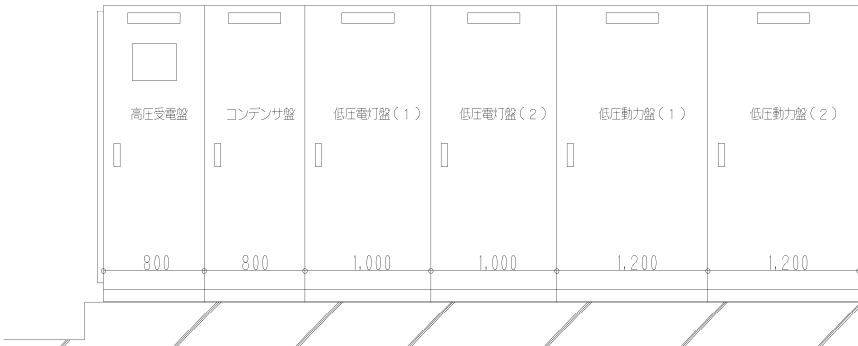


【新設】		開 閉 盤 一 覧 表				
QB-開閉器盤（幹線番号）・主開閉器		負荷記号	負荷名称	分岐開閉器	2次側ケーブルサイズ（配管）	
【S-L】						
幹線 CET150sq EP80(HIVE82)	(MA)	M1	M-1	ELCB3P 225AF/200AT	CET60sq (HIVE54)	
	MCCB 3P600AF/500AT	M2	M-2	ELCB3P 225AF/225AT	CET60sq (HIVE54)	
幹線 CET100sq EP80(HIVE82)	(MB)	M3	M-3	ELCB3P 225AF/225AT	CET60sq (HIVE54)	
	MCCB 3P400AF/400AT	M4	M-4	ELCB3P 225AF/225AT	CET38sq (HIVE54)	
屋外防水型SUS 壁掛け型						
【S-M】						
幹線 CET150sq EP80(HIVE82)	(LA)	L1	L-1	ELCB3P 225AF/200AT	CET60sq (HIVE54)	
	MCCB 600AF/500AT	L2	L-2	ELCB3P 225AF/200AT	CET60sq (HIVE54)	
幹線 CET100sq EP80(HIVE82)	(LB)	L3	L-3	ELCB3P 225AF/225AT	CET60sq (HIVE54)	
	MCCB 3P600AF/500AT	L4	L-4	ELCB3P 225AF/225AT	CET60sq (HIVE54)	
屋外防水型SUS 壁掛け型						



（既設）受変電・発電機室 平面図 1:50

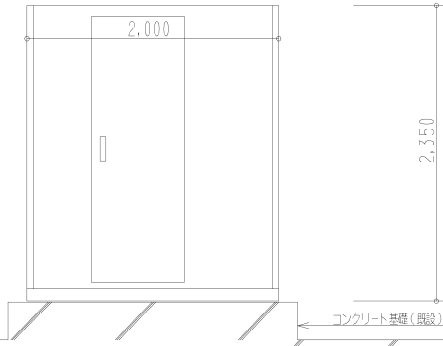
※既設キュービクル改造内容詳細は受変電設備単線結線図に表記



（既設）キュービクル姿図（正面） 1:30

既設（改造前）				
変圧器	相数	単相	単相	三相
容量（kVA）	200	150	200	200
絶縁方式	油入	油入	油入	油入
台数	1	1	1	1

コンクリート基礎（既設）



（既設）キュービクル姿図（側面） 1:30

いこいの杜空調設備改修工事

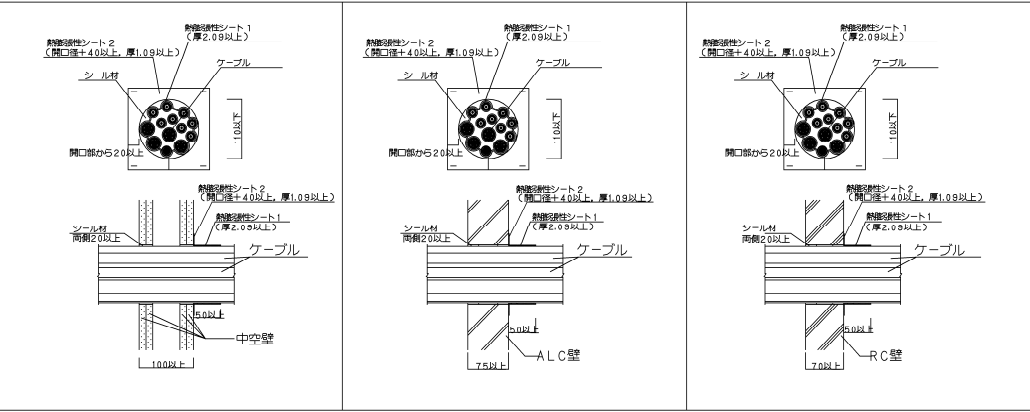
電力引込設備平面図

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士（一級建築士登録番号 202701） 飯田 浩明

PROJECT NO.	DATE	REVISION NO.
2023-29	2024.6	
図面番号	図面名	一級建築士登録番号 第314245号
E-06	—	中島 廣行

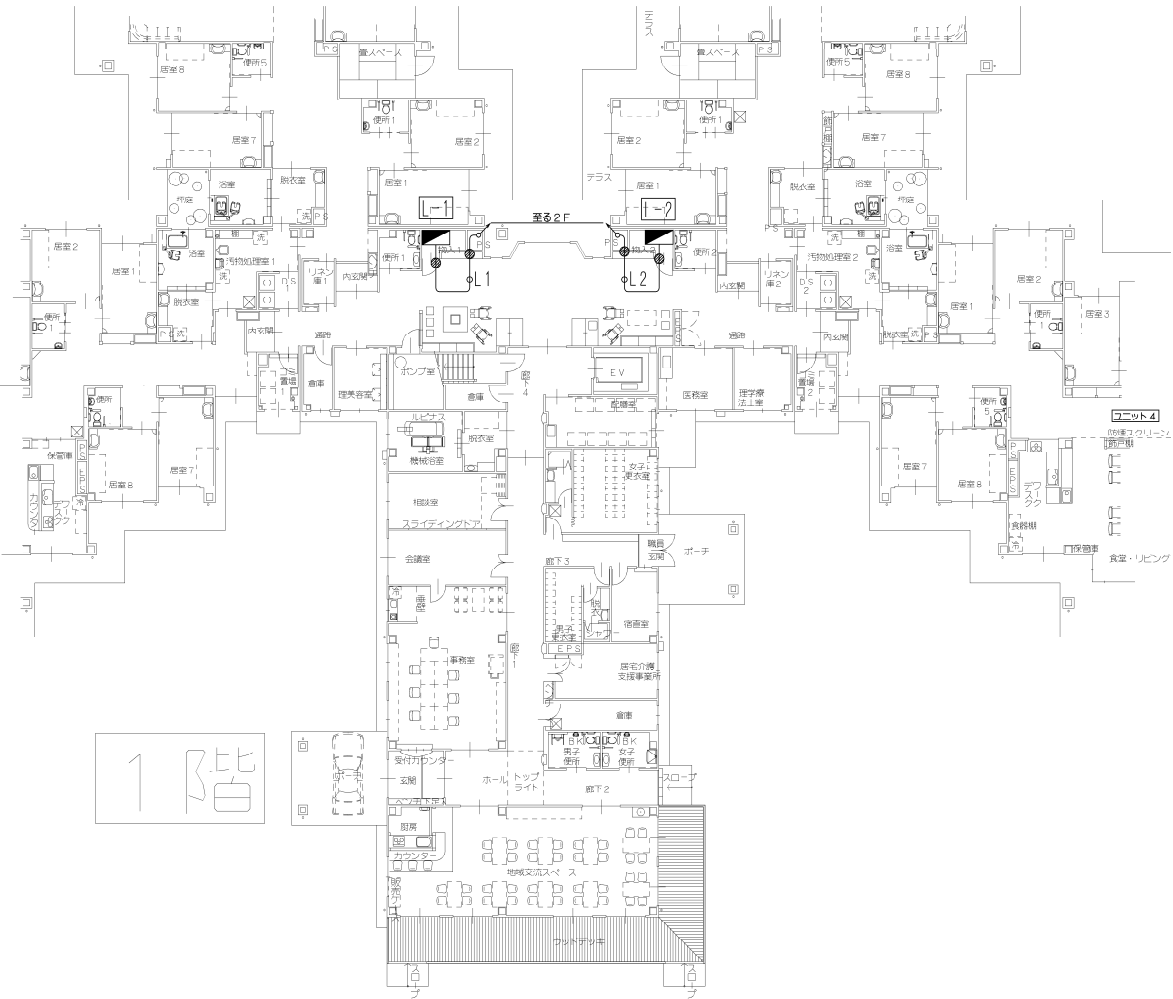
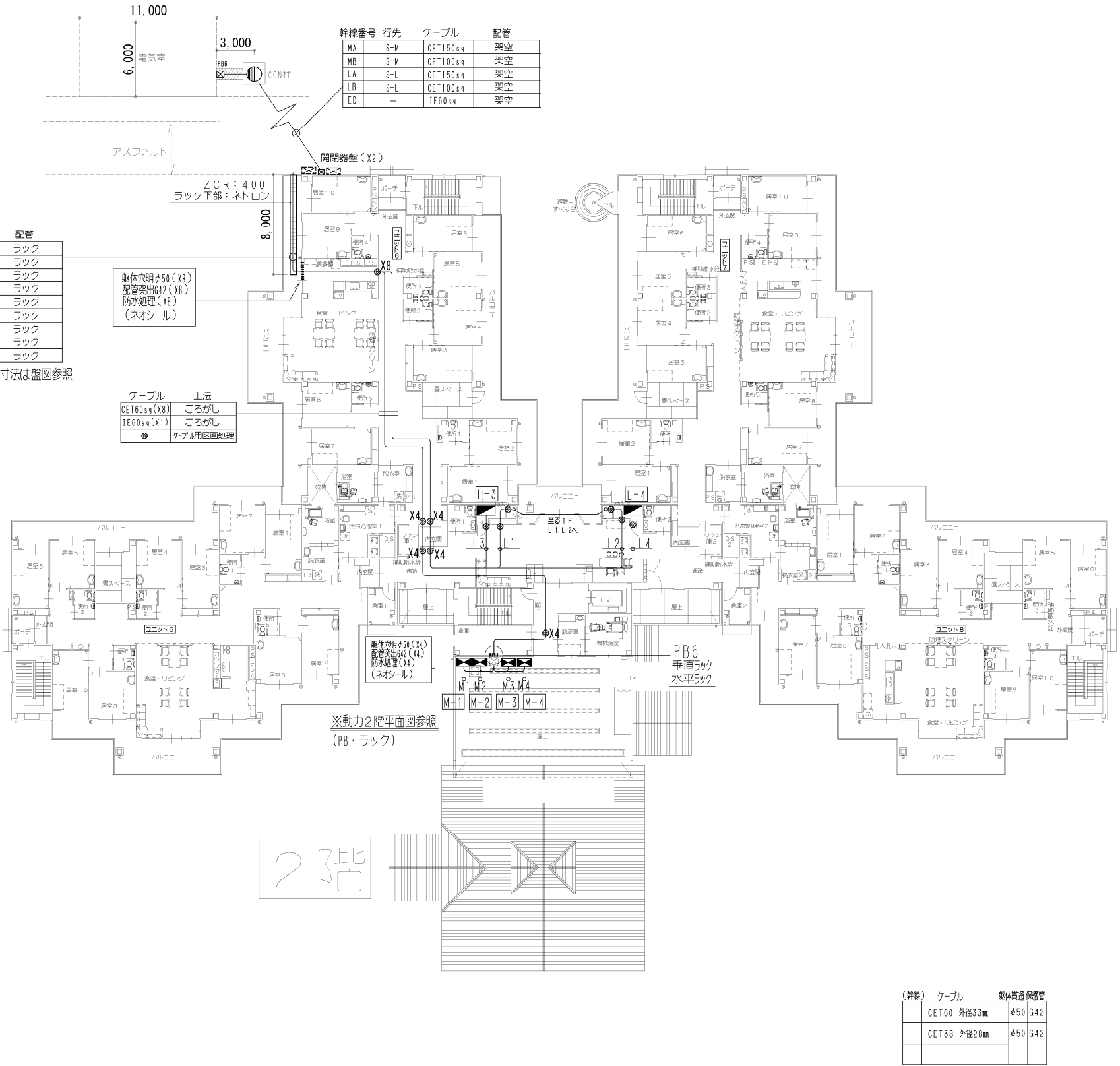
ケーブル用区画貫通処理詳細図

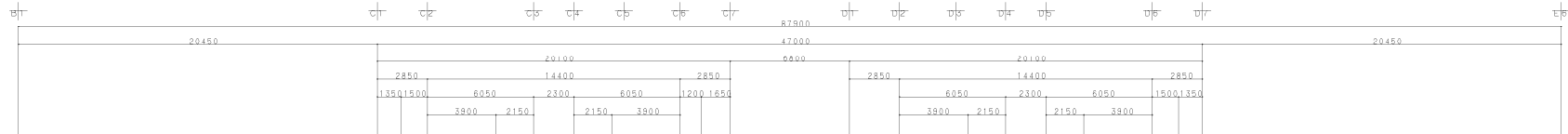
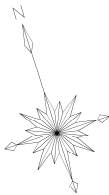


国土交通大臣認定番号P S O 6 0 W L - 1 1 7 0 (1 1 7 1)

幹線番号	行先	ケーブル	配管
M1	M-1	CET60sq	ラック
M2	M-2	CET60sq	ラック
M3	M-3	CET60sq	ラック
M4	M-4	CET38sq	ラック
L1	L-1	CET60sq	ラック
L2	L-2	CET60sq	ラック
L3	L-3	CET60sq	ラック
L4	L-4	CET60sq	ラック
ED	—	IE60sq	ラック

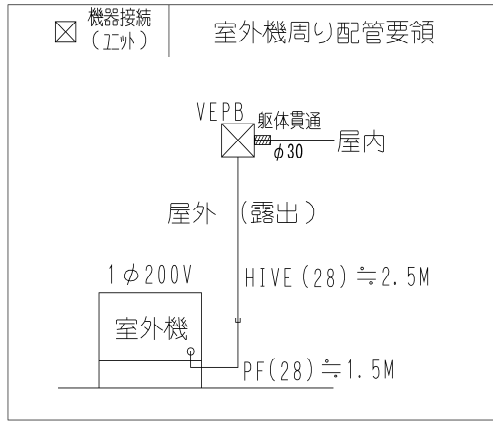
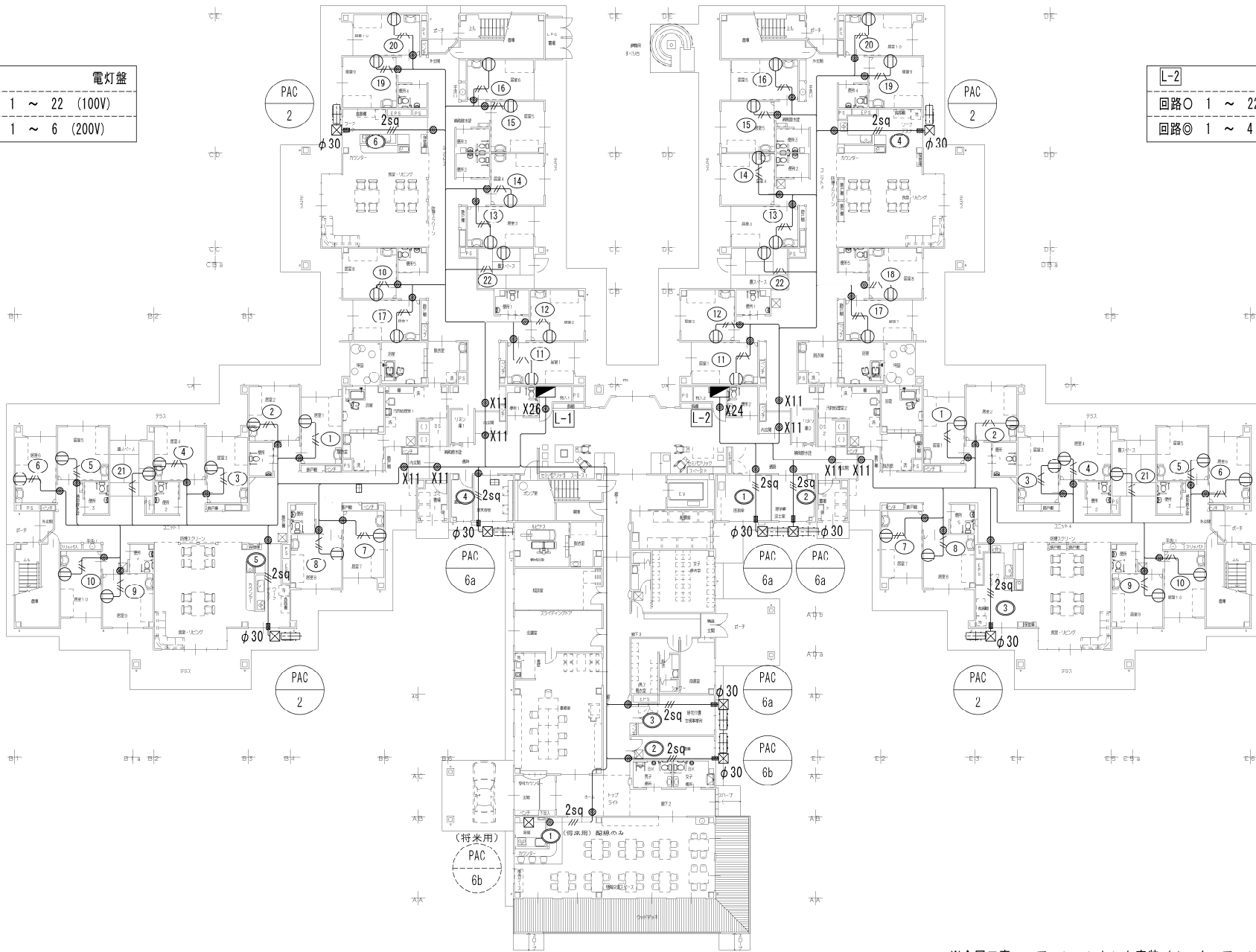
※新設分電盤（壁掛型）参考寸法は盤図参照





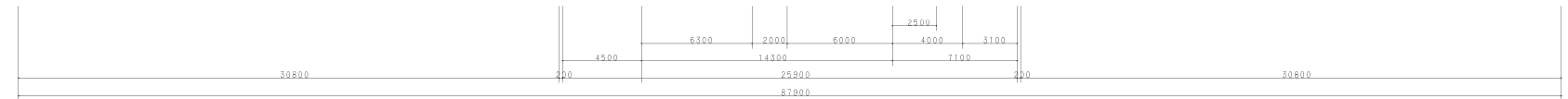
L-1	電灯盤
回路○ 1 ~ 22 (100V)	
回路◎ 1 ~ 6 (200V)	

L-2	電灯盤
回路○ 1 ~ 22 (100V)	
回路◎ 1 ~ 4 (200V)	



記号	名称仕様	備考
①	接地端子付接地極 1口コンセント	あと付けボックス
///	EEF2.0mm-3C (1芯アース)	単相100V
2sq///	OE2sq-3C (1芯アース)	単相200V
—●—	ケーブル用区画処理 (フィッパック)	
—■—	躯体貫通処理 φ30	保護管・パテ
☒	機器接続 (ユニット)	詳細参照
☒PB1	VEPB 100X100X100 (WP)	

※今回工事：エアコンコンセント実装（ルームエアコン設置は工事範囲外）



いこいの杜空調設備改修工事

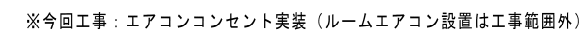
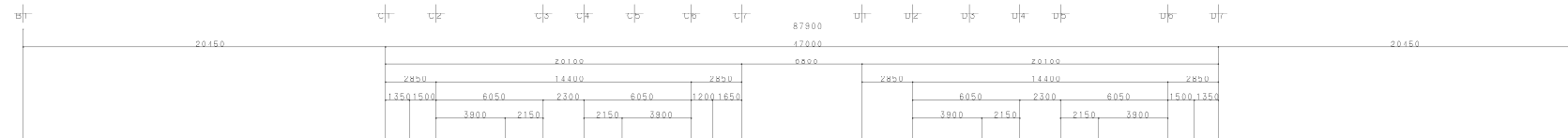
電灯設備 1階平面図

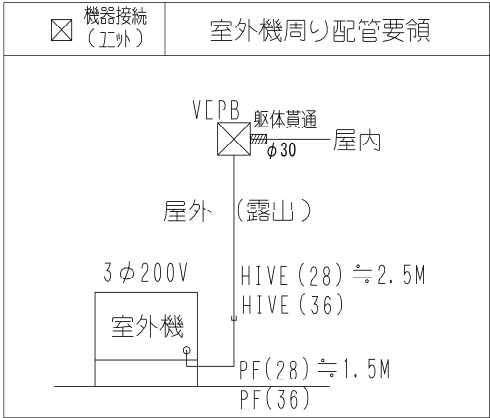
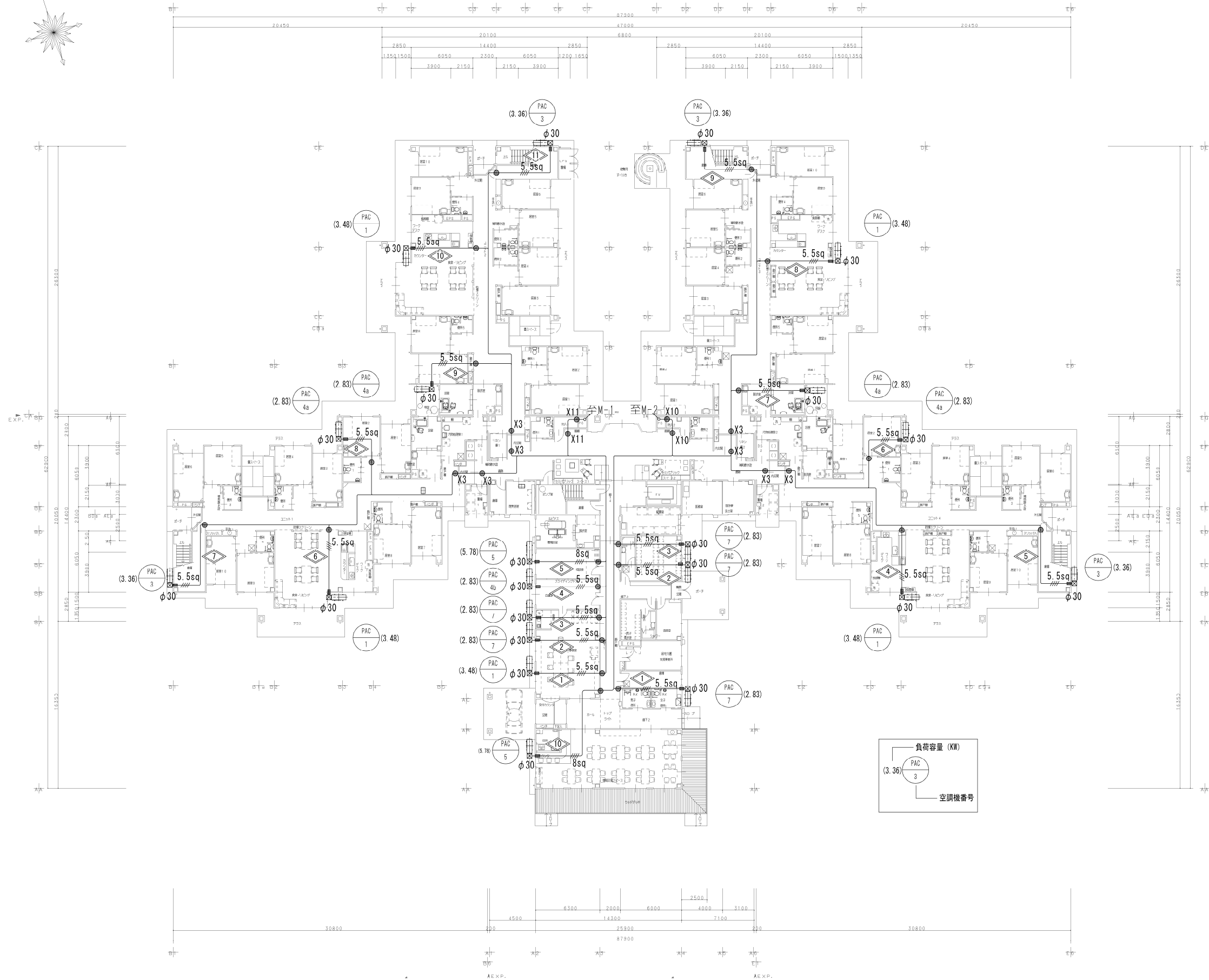
CHECKED BY

株式会社 白兔設計事務所

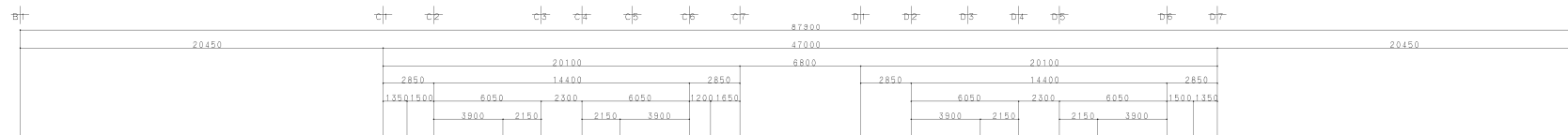
鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202701) 飯田 浩明

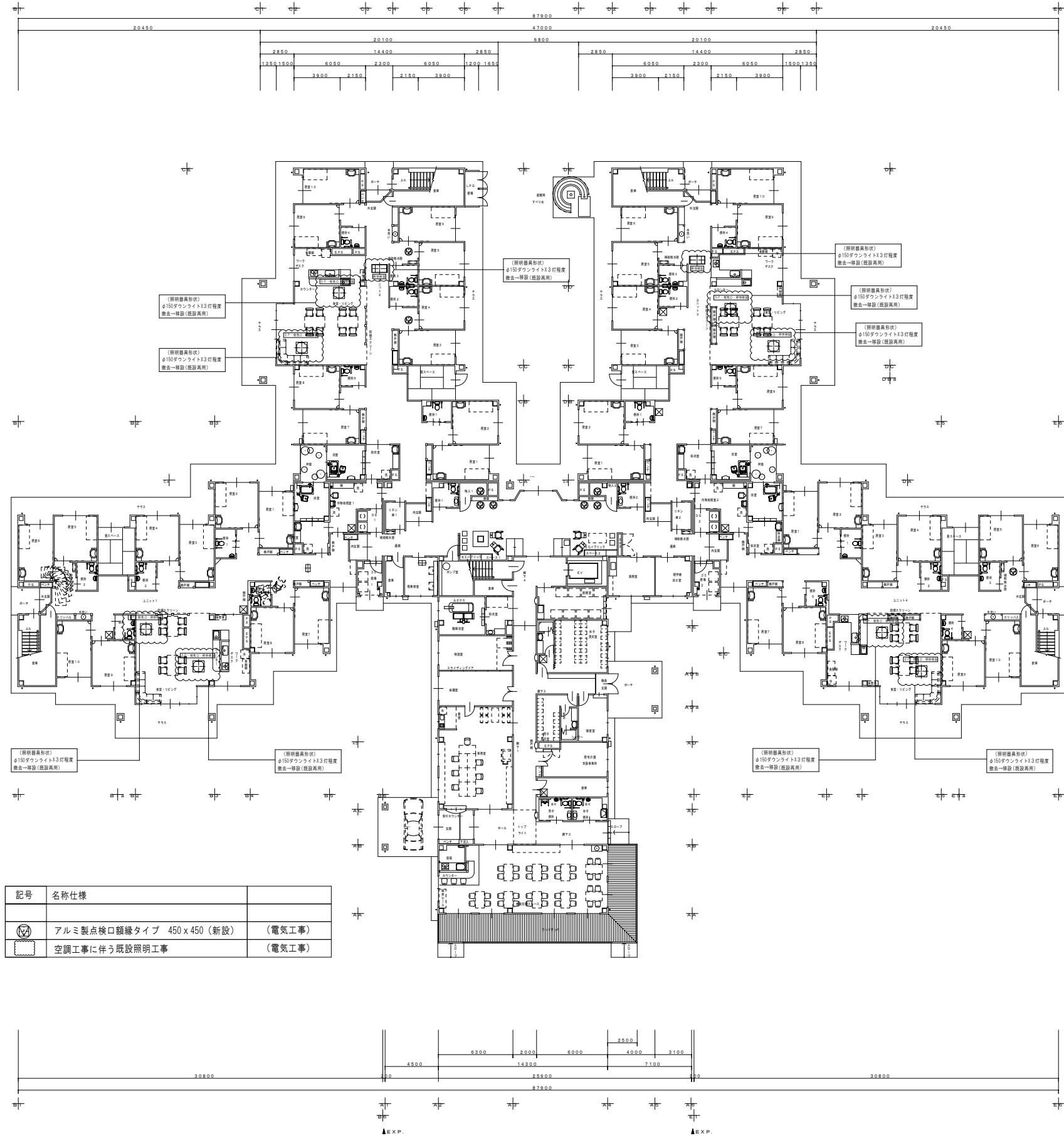
PROJECT NO.	DATE	図面NO. 別
2023-29	2024.6	一級建築士登録番号
図面NO. 別	NO. 別	第314245号
E-08	1/200	中島 廣行





記号	名称仕様	備考
5.5sq	CE5.5sq-4C (1芯アース)	三相200V
8sq	CE8sq-4C (1芯アース)	三相200V
●	ケーブル用区画処理 (フイロッテ)	
■	躯体貫通処理 φ30	保護管・パテ
☒	機器接続 (ユニット)	詳細参照
☒ PB1	VEPB 100X100X100 (WP)	
☒ PB5	SUS500X500X500 (WP)	





記号	名称仕様	
	アルミ製点検口額縁タイプ 450 x 450 (新設)	(電気工事)
	空調工事に伴う既設照明工事	(電気工事)

いこいの杜空調設備改修工事
点検口その他設備 1 階平面図

CREATED BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202701) 飯田 浩明

PROJECT NO.	DATE	REVISION NO.
2023-29	2024. 6	
REVISION NO.	NO.	REVISION CONTENTS
E-12	1/200	中島 直行

